

決算書の見方、読み方、使い方と財務分析の基本

～決算書の基本から財務分析までを1日でマスターする～

ねらい

「この会社は果たして儲かっているのでしょうか。自社はどうなっているのか。」ということは、多くのビジネスパーソンの方々の大きな関心事です。ビジネスパーソンとして決算書に関する知識は昨今の不透明な経済情勢下においては必須とされています。一方で、決算書を使ったり読んだりするのは難しい。もっと言ってしまうと財務分析は計算式が出てきてなんだか小難しいとよく言われます。バラバラになっている決算書の知識をつなげていくことで決算書を「読んで」、「見て」、「使える」ことが重要になってきます。本質を見れば財務分析はそれほど難しいものではありません。むしろ使うことによって会社の様々な問題点をあぶりだしてくれます。

本講座では、決算書の読み方から財務分析の基本的な仕組みを1日でマスターすることによって、決算書を使った会社分析の基本を身につけていただくことをゴールとしています。

時間：7時間

ターゲット層：

決算書、財務分析の基本を横断的に1日でマスターしたいビジネスパーソン

<プログラム案>

1. 決算書のしくみと読み方

- ・貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の関係
- ・貸借対照表からわかること
 - ～登場人物から見える会社の資金の流れ
 - ～貸借対照表は情報の宝庫
- ・損益計算書からわかること
 - ～売上－コスト＝利益の計算式から見える会社の活動
- ・キャッシュフロー計算書からわかること
 - ～キャッシュをどのように生み出し、どのように遣っているのか

2. 財務分析の基本

- ・分析手法のまとめ
 - ～収益性、安全性、回転期間分析とは
- ・過去から現在、将来をみていく時系列分析
- ・同業他社と比較して会社の優劣をみる同業他社分析

【事例研究】同業他社は比較が難しい

3. 会社の儲ける力の分析～収益性分析

- ・投下資本利益率

～投資とリターンの関係

- ・ 投下資本利益率からみる商売の本質

～利幅モデルか薄利多売モデルか

- ・ ROA（総資本事業利益率）

～経営者から見た投下資本利益率

- ・ ROE（株主資本純利益率）

～株主から見た投下資本利益率

【事例研究】ROAとROEはどう違うのか

- ・ 売上総利益率～会社の儲けの源泉を見ていく
- ・ 売上高営業利益率～会社の本業の儲ける力を見る
- ・ 売上高コスト比率～会社にとって優良なコスト、不良なコストを見る

【事例研究】売上総利益率と売上高営業利益率からみる3社の違い

【事例研究】販売費および一般管理費のスタンスの違い

4. 商売のサイクルをチェックする～回転期間分析

- ・ 棚卸資産回転期間

～在庫の動きを見ながら不振事業をあぶりだす指標

- ・ 売上債権回転期間

～現金回収サイクルをみる指標

- ・ 仕入債務回転期間

～会社の支払いサイトの動きを見る指標

【事例研究】回転期間が悪化しているA社とB社はどちらが問題あるのか

5. つぶれない会社を探る：安全性分析

- ・ 流動比率～金融機関が重視する「支払い能力」をはかる
- ・ 固定長期適合率～長期的な投資と支払のバランスをチェックする
- ・ 株主資本比率～返済不要な資金はどれくらいか
- ・ インタレストカバレッジレシオ～借金の大小がわかる指標

6. まとめ